



東海支部報

日本山岳会東海支部

No. 163 Oct. 1. 2020

発行 公益社団法人
日本山岳会東海支部

〒460-0014 名古屋市中区富士見町8-8 OMCLビル

電話：052-332-8363 FAX：052-322-7924

郵便口座 00800-5-13749 「日本山岳会東海支部」

銀行口座 三菱UFJ銀行 覚王山支店

普通1222073 「日本山岳会東海支部」

編集 星 一男

印刷 (株) 浅井隆文社



東海支部登山学校 上：上級クラス 右：中級クラス 左：初級クラス

目次

○リモート会議始まる	今津英一朗	2	○東海支部の 蔵書からの一冊②⑤	石田文男	12
○東海支部登山学校 第IV期開校	服部康宏	3	○60山ラリー登頂経過報告	山田明美	13
○60周年記念誌『インド・ヒマラヤ』 英語版、改訂・増補版発行	沖 允人	5	○60山ラリー登山記	佐原光子	14
○支部員だより 壊れた膝を修復する③	和田豊司	6	○東海岳人列伝⑩	西山秀夫	14
○トピックスコーナー		8	○リレーエッセイ⑩	榊 将美	17
○東海支部俳壇	西山秀夫		○委員会報告 猿投の森づくりの会	和田豊司	18
○柴田清康氏追悼	尾上 昇 吉川正幸	9	○支部友コーナー	金谷正起	19
			○同好会コーナー スケッチ	村中征也	20
			○会務報告	今津英一朗	20
			○ルーム日誌・会員異動	今津英一朗	24
			○INFORMATION	星 一男	25
			○編集後記		

リモート会議システム導入

総務委員会委員長 今津英一郎

支部ルームにリモート会議システム

東海支部におきましてはコロナ禍対応として、リモート会議のシステムを導入しました。まだまだコロナ禍は続きそうです。是非ご利用ください。

新しいノートパソコンを購入（7月）、リモート会議システムZOOM有料版へ加入、マイク、カメラ、スピーカーのPC周辺機器を購入（8月）し、ノートパソコンに接続・セットしました。

リモート会議システムZOOM有料版はgoogleアカウントにて加入しているため、各委員会からの要望により、googleアカウント、パスワードをお知らせし、会議を主催できます。必要とする時は、各委員長から総務委員長へ依頼し、ZOOM会議の予約（主催）方法をお知らせしております。※ミーティングに参加だけの手順は下記参照。

現在、正副支部長会議、常務委員会、東海YOUTH、登山学校委員会、支部友委員会、技術向上委員会などが、支部アカウントを利用しています。

また、ルームから会議へ参加するメンバー、リモート会議で参加するメンバーの一体感を出すため、ルームでプロジェクターを利用してお互いの顔を見ながら発言できる方法を導入しました。また、ZOOM有料版では、参加者の画面共有（資料画面）ができるため、紙資料の廃止ができるようになります。

リモート会議のメリット、デメリットを理解して支部内のミーティング等へ活用をお願いします。

☆ メリット：ルームに来る必要がなく、感染症感染防止に有効である。

資料共有がパソコン上でできるため、紙資料が不要となる。

☆ デメリット：発言がしにくい。（議論している感じにならない）

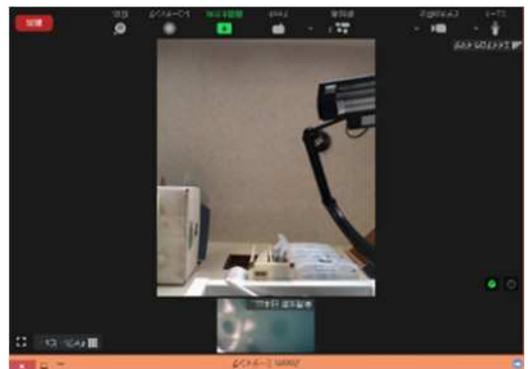
電波状況により途中で通信が途切れる可能性がある。



ルーム出席者とリモート参加者の意見交換

※ZOOM会議に参加する手順

- 事前に自身の端末（PCまたは携帯）へZOOMアプリのインストールが必要。
- 画像を送る場合は、カメラ付きPCが必要となる。なくてもよい。
 - ①Eメールなどで、ミーティングIDを受け取る。
 - ②招待をクリックしてZOOMアプリに入る。
 - ③次の画面で、ビデオ付きで参加ボタンを押す。
 - ④次の画面で、コンピューターでオーディオに参加ボタンを押す。
 - ⑤下の画面が出れば参加可能。
場合によりマイクボタンを押して消音（ミュート）すること。



リモート会議利用画面

東海支部 登山学校第Ⅳ期開校

登山学校運営委員 服部康宏

1、第Ⅲ期修了式と第Ⅳ期入校式

東海支部登山学校は、令和2年7月18日に第Ⅲ期修了式と第Ⅳ期入校式を開催した。10時からの修了式では高橋玲司学校長の式辞、榑 将美委員長の活動総括に続き初級、中級、上級各クラスの代表者に修了証書を授与した。午後からの入校式では指導員紹介の後、クラスごとに分かれてリーダーから運営規約や指導要領、年間スケジュールなどの説明をおこなった。

今年は新型コロナウイルス感染防止のため、受付にアルコール消毒薬を設置、会場では座席の間の距離をとり、窓を開けての開催となった。いろいろと神経を使ったが、無事に終えることができ胸をなでおろしている。



修了式の修了証書授与

2、体制

第Ⅳ期のクラス編成は、コロナ禍の影響もあり初級と中級が受講生5名の3クラス、上級は受講生7名のひとクラスと小規模なものとなった。一方で指導員には学校卒業生から5名、東海ユースから1名が加わり、フレッ



入校式の指導員紹介



高橋玲司学校長(支部長)の式辞

シユな顔ぶれとなった。これは特待生制度、指導員育成研修の成果である。新メンバーにはぜひ新たな風を吹き込んで欲しい。

なお、昨年11月にスタートした指導員育成研修は受講生11名、指導員補助として4名が参加。コロナ禍で一時中断していたが、7月の道迷い検証から再開した。今後はファストエイド、読図といった技術的なことに加え、リーダーの心得といった精神的な面も学んでいく。

3、カリキュラム

登山学校は3年で卒業する制度を採っており、第Ⅳ期からは受講生が入替わり新たなクールに入る。そのため今期から指導カリキュラムを見直し、初級、中級、上級の違いをより明確なものにした。

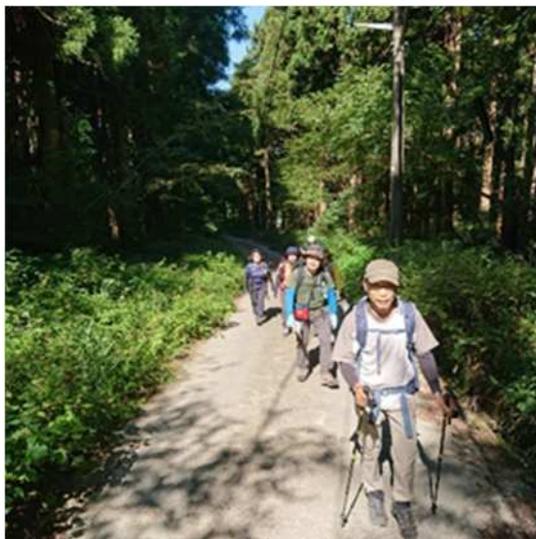
初級は「日帰り山行」が基本となる。正しい歩き方、ストックワークを学ぶと同時に、山での基本的なルール、マナーを身につけて



初級クラス現地講習：西山

もらう。最近はわれわれにとって当たり前
のルールを知らない登山者も多い。初級では、
パーティとしての行動の規律などもしっかり
と教えていきたい。

中級は、初級の内容に「無雪期テント泊」
をプラス。テントでの生活術やパッキングの
テクニックも学ぶ。当然背負うザックは重く
なるため、体力づくりも重要なポイントとな
る。



中級クラス現地講習：荒島岳

上級は1泊2日山行を基本として「積雪期
テント泊」を体験。もちろんロープワークや
岩登り、アイゼン・ピッケルワークなど雪上
技術の基礎も学ぶ。



上級クラス現地講習：西穂高岳



上級クラス現地講習：西穂高岳



上級クラス現地講習：西穂高岳

4、おわりに

新型コロナウイルス感染拡大の終息の見通しが立たない中、今後は学校の運営スタイルも見直しが必要となってくるであろう。8月は机上講習が中止となり、現地講習では山域や交通手段を変更したクラスもあった。現在の状況がいつまで続くのか分からないが、ZOOMなど新たな技術を活用して指導員と受講生のコミュニケーションだけは「密」にとっていききたいものである。

登山は個人のレベルに合わせて一生楽しめる素晴らしい趣味である。学校で基礎を学んだ受講生の中から、一人でも多く将来の支部を担う人材が出てくることを願っている。

支部創立 60 周年記念事業

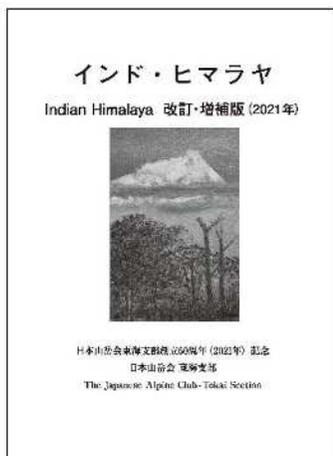
60周年記念誌『インド・ヒマラヤ』

英語版、改訂・増補版 発行予定

沖 允人

改訂・増補版『インド・ヒマラヤ』発行予定

2015年12月1日・日本山岳会創立110周年記念出版として京都のナカニシヤ出版から出版した初版(657頁)にシッキム、ザンスカール、東部カラコルムの最近情報を大幅に補足し、概念図も

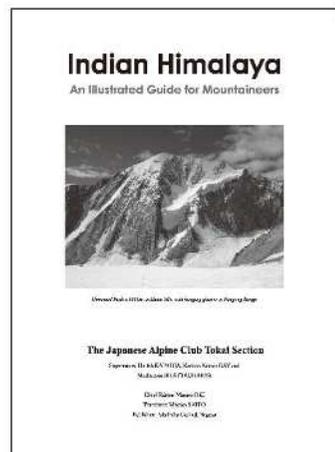


加えた改訂・増補版(約720頁)を東海支部設立60周年記念として名古屋の風媒社から出版する予定である。判型は初版と同じA5版・上製・表紙布張り・カラーカバー付。発行部数は100部限定の予定。頒価は1.5万円・予約申し込み者は1万円、JAC「山」に予告済である。

初版は、約40名の編集・執筆委員であったが、改訂・増補版は、沖允人・稲田定重・星一男が編集を担当し、尾形好雄・阪本公一・寺沢玲子・能勢真人・Keith Goffinらに補足・修正を依頼した。現在、編集担当の3名で第五校が終わり、組版中である。2021年4月末頃に発行の予定である。

英語版『Indian Himalaya—An Illustrated Guide for Mountaineers』発行予定

初版出版につづいて英語版を出版する計画があったが、内容について検討を加え、最終的に、初版の各山域の日本隊の記録を割愛することにし、山名の解説に重点を置くことにした。書名



も副題を付けて内容をふさわしいものにした。全体の英文を統一するために、専門の翻訳者に依頼し、校閲者として、インド・ヒマラヤに詳しいHarish Kapadia, Kankan Kumar Ray, Madhusee Bhattacharyaに依頼した。現在、第四校が終わり、組版中である。判型は改訂・増補版より少し大きいB5版・上製・表紙カラーソフト・カラーカバー付。頒価は8000円で・予約申し込み者は5000円(JAC「山」に予告済み)。発行部数はとりあえず100部限定とし、海外での販売の状況では、増刷を検討する予定である。

改訂・増補版、英語版ともに、予約申し込みは、

日本山岳会東海支部・担当・星一男宛(E-Mail: khoshi@katch.ne.jp)。

送金先：三菱UFJ・安城支店(413)・普通口座・口座名・日本山岳会東海支部刊行物編纂委員会・星一男・口座番号0075297

発行所：〒460-0014 名古屋市中区富士見町8-8 OMCビル B1

日本山岳会東海支部刊行物編纂委員会・星一男

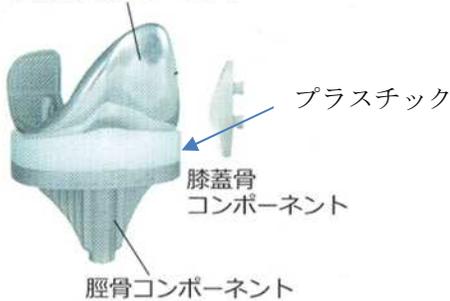
なお、ソウルの出版社(Haroojae Club・Publisher Byun, Gi Tae・邊起兌/Project Manager Dong Soo Kim・金東壽)で韓国語版を、改訂・増補版と英語版をもとに発行準備中である。2022年には出版予定とのことである。Byun, Gi Taeは日本山岳会(JAC)に相当するKorea Alpine Club(KAC)の会長である。

(2) 人工関節置き換え手術

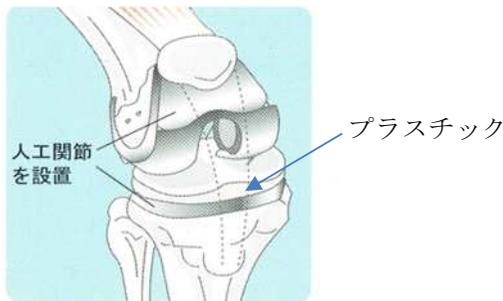
第3話では壊れた膝をどう直すか。小生の例で説明する。前項で述べたがすでに右足は傷んだ部分の半月板(軟骨)を除去している。元支部員の医師とモニター画面で膝の内部の様子を話しながら手術を受けた記憶がある。内視鏡による手術である。半月板は軟骨できており画像を見た感じは、まるでクラゲである。ちぎれかかったヒラヒラと、ちぎれてしまったクラゲのかけらが液体の中(関節液)の中で汚く漂っている。このちぎれかかったヒラヒラとかけらを取り除き、変形し角(つ)となった骨を切除した。医師曰く、次は人工関節ですね、と言われていた。それでも10年はこの状態で使えた。

人工関節と言っても関節部分を全部置き換えるわけではない。

大腿骨コンポーネント



人工関節 * 1



構造(透視図) * 1

大腿骨骨頭先端をチタン合金でできた複雑な形をした骨頭に置き換える。

脛骨(すね)の骨頭部分は超高分子ポリエチレンというプラスチックに置き換える。大腿骨と脛骨の両方を金属で作ると摺動面がかえっ

て摩耗する。受け側を潤滑液がなくても摩耗が少ない摺動可能な材料として超高分子ポリエチレンが選定されている。人工関節の材料や置換手術はこの15年ほど前に確立され全国どこでも手術が受けられるといっても過言ではない。

問題はこの材料を使いこなし患者にとって最良な技術力によって手術とリハビリが行われるかによって運動能力が回復できるかである。卑近な例で申し訳ないが小生の娘が15年ほど前に大腿骨骨頭の手術を某大学病院で行い大失敗した経験がある。最先端の大学病院とはいえ、しっかりした技術と管理体制があるとは限らない。大学病院であるからこそ研修中や行き場のない医師がいる可能性は多分にある。

手術を受ける病院を決めるには①確立された最先端の技術があること。②経験が多いこと。外科手術はメスを持った解体屋(魚屋さん)か、工芸家(大工さん)か洋服デザイナー(洋服屋さん)。この一連の技術・器用さと数を重ねた経験がないと良い手術はできない。③清潔で最先端医療機器の整った病院であること。一見して薄汚い、古い病院は感染が潜んでいる。骨には直接血液が届かないので感染症を拾ったらおしまい。先ほど述べた小生の娘は感染症を拾ってしまった。④しっかりしたリハビリ体制があること。上出来の手術を行っても本来の機能に復帰させるためには並々ならぬ本人の努力が必要。本人の努力の成果を引き出すのがリハビリの先生(理学療法士)。五輪級の選手の裏方には立派なトレーナーがいる。痛くても理にかなったリハビリを最後まで付き合ってくれることが必要。外科手術の後は痛い。痛いことはしたくないのが人情。きつくても機能回復のため叱咤激励し支援してくれるリハビリ施設がある病院を選定することが必要。

第4話 手術の様子

手術の一連の流れを小生の例で説明する。名古屋整形外科関節クリニックの初診は2019年10月18日(金)。レントゲン、MRIなどの検査と症状から変形性膝関節症と診断、覚悟を決めていたのですぐ手術をお願いした。ところが手術の空きがなく2020年5月と言われた。仕方なく

予約。事前リハビリに隔週通うようになる。投薬はサインバルタ。1月になって2月4日の手術にキャンセルが出たので前倒しの連絡。即OKする。

事前リハビリは血流を良くし、膝周辺の筋肉や筋を柔らかくし術後、関節の曲げ角度を大きくするためという。良く理解できないが欠かさず通う。

いよいよ2月3日(月)午後入院。相変わらず1階の通院フロアはおばあさん(股関節で診察の方が多いため圧倒的に女性が多い)でゴった返す。医師の手術に関する説明を聞く。一番驚いたのは個室使用料。1日税別8,000円。清潔で広くてトイレ付きの快適な部屋に案内される。もともと個室しか空いていないとは聞いていたがチト高い。手術前のレントゲン撮影、血液検査、血圧、体温など手術に支障がきたさないかチェック。

翌朝、6時15分、起床、検温、血圧測定しシャワーを浴びて手術着に着替える。朝から絶食。腹が減る。点滴(リンゲル液か)、度重なる検温血圧測定で結構忙しい。11時30分頃になると点滴で睡眠剤の投与が始まる。おむつを当て12時30分敷メートル先の手術室に歩いて向かう。手術室はテレビで見えるような仕組みのようだが物々しい雰囲気ではない。

手術台に上り色々な装置がセットされ始める。胸からは遮蔽カーテンで見えなくしてある。ちょうど13時だ。導尿(あまり気持ちがいいものではない。不思議と恥ずかしさはない)。背中を丸め背後から下半身麻酔が打たれる。手術台が揺れる。何か装置をセットしているようだ。5分もすると意識がなくなる。

17時回復室で目が覚める。病室に戻ったのは19時45分。意識はまだ朦朧としている。

23時大腿四頭筋の全体と筋が異様に痛い。加えて導尿しているにもかかわらず残尿感が強い。25時(夜中の1時)たまたま看護師を呼んでトイレに行きたいと駄々をこねる。支えられてトイレに行くが何も出ない。それどころか動いた途端に冷や汗が出てくる。ベッドに戻る途中で失神しそうになる。ベッドに倒れこむ。看護師が血圧を測ると105しかない。低血圧だ。

その夜中から5日夕方まで24時間膝の激痛は収まらない。鎮痛剤の点滴はほとんど効かない。四頭筋が異様に痛い。運動しすぎた後の筋肉痛

の3倍くらいの痛みだ。傷の痛みは感じない。

2月6日朝回診。膝は痛むが昨夜は多少眠れたようだ。心電計や飽和酸素濃度計、点滴、導尿が昼過ぎまでに取れどどん気分は良くなる。11時過ぎにシャワーを浴びる。手術後48時間もたたないのにシャワーを浴びることができるとはなんと有難いことか。11時45分からリハビリ、13時から上半身ストレッチ、15時45分から1時間またストレッチ。自主トレーニングの仕方教わる。



術後40時間ほどの切開部分
足が腫れあがっている



四頭筋の激痛は手術時の出血を止めるため膝の上部を止血帯で強固に止め血流をなくす。筋肉に一時的に血が流れない。四頭筋や筋が大きくダメージを受けることになる。この術法により出血量は100ml以下に抑えられる。

この時点で右膝の曲げ角度103度、伸ばし角度は15度までしか曲げ伸ばしができない。腫れあがった膝上の周囲長は45cmであった。担当の理学療法士には目標は曲げ角度145度、3月19日にネパールへ出発できることの2点を頼んだ。笑いが回答である。一般的な治療の目標は120度から130度、3か月は無理な行動は不可なのだ。



前の小生の膝関節



術後の小生の人工関節

まだ炎症はあるものの手術そのものは成功裏に終わったので2月14日に退院となる。これからはリハビリによりどこまで改善されるか乞うご期待。

第5話では2020年3月に計画しているネパールトレッキングの話、第6話では最終的にどこま

2月8日の時点で傷口の痛みはほとんどゼロ。理学療法士がマッサージした直後の曲げ角度130度、腫れも引き始め43cmになった。

術後右足は0脚が矯正されたため少し長くなったのだろう左右の長さが異なる。膝周辺はかなり熱を持っている。傷は痛くないが右足は全体がだるく鈍い痛みが取れない。

で膝の機能が回復したかを報告する予定である。

*1 “患者さんの手引き” 人工関節置換手術「より快適な生活へ」日本ストライカー(株)より引用。

TOPICS

ルームの冷蔵庫が新しくなりました!!

長年使ってきたルームの冷蔵庫が古くなったので「どなたか新しいものをご寄贈いただけませんか」とお願いの貼り紙を出しておいたところ、今度、支部員の杉山雄彦さんからそのお申し出がありました。

8月20日に新しい冷蔵庫が据えられました。大きさも、今までとほぼ同じで使い易く、同じ場所にぴったりとはまりました。是非、委員会などの各種会合用に有効にご利用下さい。

改めまして杉山さんに御礼申し上げます。



東海支部俳壇

西山秀夫

まったりと過ごす藤内登山小屋
山蛭は生かしておけず殺すべし
岩陰に咲くやシモツケソウの花
梅雨晴れや岩壁を攀ぶクライマー
滴りに濡れし鎖を掴み行く

7/30 から7/31 木曾駒・上松尾根に遊んで
大滝は梅雨の加勢にとどろけり

ひとしきり雨音を聞く登山宿

コロナ禍に閑散とする登山口

山小屋の香取線香頼もしき

登りつつ滴る汗のとどまらず

浮石を乗り越えて行く登山道

五合目のオアシスめきし登山小屋

山清水掬ふ小さきコップかな

さみどりの色に染まるや夏鶯

小花咲くカニコウモリや梅の森

木曾五木豊かに育つ夏木立

らうそくが小屋の灯りや夏の夜

小屋の前ホタルブクロの群れ咲きぬ

万緑の上松尾根に喘ぐなり

追 悼

柴田清康君追悼

常任評議員 尾上 昇

柴田君が東海支部に顔を出すようになったのは、1998年(平成10年)の支部総会からである。この年、彼は日本山岳会に入会、併せて東海支部の一員になっている。

席上「柴田です」と名刺を渡されたが、にこにこ人懐こい穏やかな人柄というのが第一印象である。聞けば南山高校の山岳部出身で、慶応大学では山岳部に籍を置いていた。職業は、父君と一緒に税理士をやっているという。

慶応といえば、まさに日本の山のオーソドックスな山登りを受け継いできている伝統校である。これは良い人材が東海支部に現れた。オーソドックスな登山を支部員や支部友に伝授できる機会であると、私は内心大喜びした。

早速、登山教室委員会に入ってもらい、現地山行のリーダーと講師を務めてもらった。当時、登山教室真っ盛りでどの教室の講座の講師にも柴田清康の名を見つけることができた。得意な講座の命題は、「山でバテない歩き方」であった。

私は、山なんぞは「頑強な体に自らを鍛え、バンバン山登っていけばバテるわけがない」などとうそぶく方なので、いささか面映かった。しかしながら、山をこれから始めようとする人にとっては、大変魅力的な人気の講座であったといえよう。

2011年から6年間副支部長に就いてもらったが、この間に私には彼に関する忘れられない印象的な出来事が三つある。先ず一つは、南山高校山岳部で同級生の大島 忍君も東海支部員であったが、その大島君が荒島岳で遭難死亡するという事故が起きた。このことについてである。同級生の死は、彼にとってはショックであったであろうが、大島君がリーダーであったことに彼はこだわり、この事故の徹底検証をやった。二度と遭難事故は起こしてはならないと、かなり手厳しいリーダーシップの分析や鋭い指摘をしたのには驚かされた。それは我がことに置き換えて大島君の反省の代弁者だと察した。

二つ目は、東海支部には支部友会員という



アルプスに遊ぶ

独特の制度がある。一時期は、支部友会員が200名を超したことがある。これはこれで東海支部隆盛の一因であることも確かであったが、反面いつまでも支部友会に留まり、支部友会をツアー会社と混同する者が沢山いた。柴田君はこの現状は「本来の日本山岳会の主旨に反する」と改革を唱えた。

担当副支部長という権限で在籍3年迄、それを過ぎたら支部員(正式な日本山岳会員)になるか、支部友会を退会してもらおうというルールを制定した。

お陰様で支部員は、大巾に増加したが、一方で支部友が激減し、支部友会の再構築に大変苦勞した。その時の支部友委員長は私だったのである。

三つ目は副支部長4年を経た年のことである。これ迄の活躍振りから私は彼を次期支部長に推薦した。回りの皆も賛成してくれたので、次期支部長を引き受けて欲しい旨を柴田君にお願いした。彼からは、承諾の返事をもたらした。一安心していた矢先の総会の直前、私に彼は「支部長出来ません」と断ってきた。理由はと聞くと、父親が亡くなってそのクライアントを全部引き受けたので、とても忙しいのだそうだ。お父さんが亡くなったのは、昨日、今日の話ではない。私は総会も迫ってきているし、承服しかねると突っぱねたが、彼は頑として引き受けられないと断った。止むを得ず支部長を降りる予定の小川支部長を口説き、もう2年の支部長継続をお願いした。

いまにして思うと、その時体のどこかに異



アルプス グロースグロックナー
登頂

常の兆しでも見つかっても知れないと思っ
ている。何故ならその3年後にぼそりと私に病のことを告げたからである。

プライベートでは、よく連れ立って一杯やりに行った。山岳部出身同志ということもあって

話が合った。山へは、毎年5月の連休に残雪を求めて主に奥美濃や石徹白の山々に一緒した。

さすがに生活技術や登山技術は確かなものを身に付けていた。一度、5月の連休の焼岳に行ったが彼だけスキーで頂上近くまで上っている。オールラウンドな山登りを指向してきた証拠である。

その連休山行もここ3年前から体調不良を理由に参加してこなくなった。昨年の6月、柴田税理士事務所を継がれたご子息の柴田隆平さんを同道、私の会社を訪れた。すっかり弱気になっていて元気な頃の覇気はなく、相当参っている様子であった。ひょっとしたら私へのお別れの挨拶だったのだろうかと思いを巡らせている。

山歴は、略歴にも記しておいたが、国内登山の他1970年にヒマラヤのバウダ峰(6672m)の慶応大学隊に参加、初登頂に成功している。大学3年生である。当時としては、特筆すべきである。2011年、2012年には、慶応の仲間とヨーロッパアルプスの峰々を登りに行っている。

学生時代の柴田君の様子は知らないのですが、慶応の山岳部の同級生の吉川正幸さんに尋ねたところ、略歴と一緒に若い頃の思い出話も寄稿してくれた。併せて掲載させてもらった。

ちなみに吉川さんは、私の日本山岳会会長就任時の副会長であり、その運営に力を注いでくれている。

享年72歳は、まだ若い。税理士という仕事

柄、この歳は最高に脂が乗っている頃といってよい。今日では山登りも72歳はまだ現役である。東海支部でももう一働きも、もう二働きもを期待していたのに、決してお世辞ではなく「有為な人材を失くした」という言葉が柴田君にそっくり当て嵌まるのである。私としては、残念の極みとしか申しようがない。それより、もっと本人の方が悔しかったらうと想像にかたくない。「なあ柴田君 もう少し、山登りたかったらどう？」。

柴田清康君の思い出

吉川正幸

(慶應義塾大学山岳部同級生)

一枚の古い写真がある。1969年10月、福島県の吾妻連峰、大学の山小屋の開所式でのひとコマである。中央は榎有恒さん、言うまでもなく、日本に近代登山をもたらした、日本山岳会の会長をつとめ、マナスル登山隊の隊長でもあった方である。手前の左には佐藤久一郎さん、ロッククライマーズクラブの同人であり、キャラバンシューズの創業者でもあった大学の先輩である。そして、手前の右には柴田君がいる。ちなみに私は、後列右から2番目にいた。



慶應の仲間と

柴田清康君と私は、この写真の前年、1968年(昭和43年)の春に慶應義塾大学の体育会山岳部に入ったので、共に大学2年生の20歳であったはずである。もはや私達は日本山岳会の初期のメンバーに直接、お目にかかることのできた最後の世代になってしまった。

山岳部で4年間一緒だったということは、とても言葉では言い表せない関係であった。特に仲が良かったわけでも、悪かったわけでも

ない。年に100日ちかく山行をともにしても、山岳部での登山は厳しかったせいか、友情をあたためるとか、ひどい喧嘩をするわけでもなかった。

当時から柴田君は、自分達の登山とは、かくあるべきとか理屈をこね回して、私を混乱させていたものである。それでも、卒業後に久しぶりに会えば、昨日にも会ったように気心のしれた会話をするようになる。彼は、卒業後50年たっても、若いころと少しも変わらず、自分達の山登りとは何か、ヒマラヤに向かって進むべきであると、言ったことを繰り返していた。

柴田君と最後に山に登ったのは、2015年の春の妙高山へのスキー登山であった。このときは、4人の仲間の中で一番元気で、率先してスキーを進めていた。山の頂上で、満身の笑顔でいる彼の写真が残っている。その日の宿では、彼は仕事を一生続けると言い出して、皆で、仕事はほどほどにして、これからは山を楽しむべきであると説得したものであった。

それからほどなくして、彼が病に倒れたと聞いた。学生時代の仲間で、何回も見舞いに行こうかとの話もてたが、なぜか実現しなかった。元気でない彼の姿を見るのが嫌だったのかもしれない。彼が闘病生活のあとに亡く

なつたと聞いて、とてつもなく悲しかった。彼のご冥福をお祈りするとともに、一緒にいった山行の思い出を一生大切にしたいと思う。

略歴

- 1968年(昭和43年)3月 南山高校卒業、同山岳部に在部
- 1968年(昭和43年)4月 慶應義塾大学商学部入学、同時に体育会山岳部に入部
- 1969年(昭和44年)12月 燕岳より槍ヶ岳まで縦走
- 1970年(昭和45年)3月-4月 ネパール・マナスル山群・バウダ峰(6672m)遠征
遭難者を出すも、柴田君も初登頂に成功
- 12月 明神岳から前穂高頂上に幕営、奥穂高往復
- 1971年(昭和46年)3月 烏帽子から弓折岳縦走
- 10月 薬師から笠ヶ岳縦走
- 1972年(昭和47年)3月 大学卒業 名古屋に帰る、柴田税理士事務所入所
- 1998年 日本山岳会入会、同時に東海支部に籍を置く
- 2011年-2016年 東海支部副支部長
- 2011年、2012年 ヨーロッパアルプス
- 2020年(令和2年)6月 逝去 享年73歳

御寄付をいただきました

- 6月にご逝去されました故柴田清康元副支部長の御遺言により当会に100万円の御寄付をいただきました。
お礼と共に、柴田清康氏のご冥福を心よりお祈りいたします。
- 3月にご逝去されました一柳政右衛門会員のご家族様より当会に10万円の御寄付をいただきました。
お礼と共に、一柳政右衛門氏のご冥福を心よりお祈りいたします。





東海支部の蔵書からの一冊②⑤

図書委員 園田さえ子

『アルピニストの手記』

著者・小島烏水

〈登山史の重要文献といわれる〉

(本書は1936年書物展望社より刊行され、続いて1939年に同社より改訂版が刊行された。のち、あかね書房版「日本山岳名著全集」第1巻1965年、大修館書店版「新選復刻日本の山岳名著」第16巻1978年などに収録されたが、本書「平凡社ライブラリー版」では本文をあかね書房版「日本アルプスの登山と探検・ウェストン／アルピニストの手記・小島烏水」新装版1970年を底本とし、必要に応じて書物展望社版・改訂版を参考した。)

小島烏水(久太)氏 略歴

- 1873年(明治5年)香川・高松 生～2歳の時上京・横浜～銀行勤務
- 1906年(明治38年)山岳会設立(6人)
- 1915年(大正)～1927年(昭和)米国勤務
- 1931年(昭和6年)日本山岳会初代会長
- 1936年(昭和11年)「アルピニストの手記」
- 1948年(昭和23年)没

〈この本を読むにあたって〉

「多くの山の思い出の記は山の絶壁や氷河との激しい闘争の物語が綴られている。私のこの本には、肝心の山のことが少なく、山に登場した内外の先輩岳人、有名または未知名の岳友に関する物語が多い。」(P15より)

〈「アルピニストの手記」の内容を

整理してみると〉

(1) 明治時代における世界の岳人との繋がりについて書かれた手記(P9～)日本アルプス早期登山時代。

・外国人による書籍:「日本案内記」(ジョンマレーレイ)／「日本アルプス」(ウェストン)／「日本旅行案内」(チェンバレン)(P110)。参考:ガウラウンドの登山事情(P77)／争われたるマッターホルン(P270)。

(2) 山岳会の成立まで。
(P17～)「槍ヶ岳からの黎明」・「ウェストンをめぐりて」／「ウェストン寄付の登山帽」／「山岳会の成立まで」。

(3) 日本における山、登山に関する書物と岳



人、岳友など(明治から昭和11年まで)。

(P47～)「山水無尽論という本のこと」－大町桂月など／(P57～)「日本アルプスの思い出」－河東碧梧桐など／(P68～)「紀行文家の群れ」－田山花袋／(P85～)サンフランシスコで迎えた山崎直方氏(地質学者)。

(4) 小島烏水氏の人となりが見られる手記。

(P96～)私のあった登山家の印象(内外の先輩岳人)／ジェームス・ブライス先生(氷河について)／王堂チェンバレン・白井光太郎先生(植物病理学者・大台でオオヤマレンゲ群落発見)／悪沢岳の発見者(荻野音松)／日本アルプスのぬし(神河内の上条嘉門治)／(P146～)山岳美と日本精神／(P159～)セガンティーニ(アルプとは牧場のこと)／(P177～)辻村伊助のサンモリッツ旅信／上高地は神河内が正しき説／(P274～)生い立ちの記・

〈「アルピニストの手記」を読み終えて〉

文明開化の明治、デモクラシーの大正時代という時代背景で、日本における「山岳会」の組織化には大量の知識や資料が求められたと思う。この点において烏水氏は山岳への崇拜と語学力、勤勉さでそれを達成できなかったのではないかと考えさせられた手記であった。

私達日本山岳会の設立発起人の一人であり、初代会長。この観点からも是非ご一読を。

平凡社ライブラリー175 (全頁295)

発行日 1996年12月15日 初版第1刷

60山ラリー登頂経過報告

60周年記念国内事業担当 山田明美

60山ラリー状況(8月27日現在)

60山ラリー活動期間も残すところ、あと1年となりました。2月から猛威を振るい始めた新型コロナウイルスにより、活動の制限を余儀なくされました。今夏、第2波と思われる猛威が押し寄せ、山小屋の非営業やそれに伴う登山道閉鎖があり、楽しみにしていた夏山登山も出来ない場所も多々ある状況です。

こんな状況下でも工夫して楽しんでおられる方もあり、実績の途中経過をお知らせします。

進捗状況(下記表参照)

8/27現在、登録者数は110名となっています。新型コロナウイルス第1波の緊急事態宣言が解除された後、一気に登頂数が増えましたがコロナの影響で長くは続きませんでした。

新型コロナウイルスにより先の見えない日々が続く中、『3密』を避け『感染しない、させない』を第一に決して無理をしない60山ラリー登山を楽しんでいただき、低山だからこそ必ず『登山計画書の提出』をお願いします。

1. コース別達成者数

100 高山	達成者なし
一等三角点	1名(栗木洋明)
愛知県の山	8名(栗木洋明、前田隆久、天野倅明、熊谷美喜子、前田芳子、石井 仁、山田明美、榊 将美)
岐阜県の山	3名(栗木洋明、遠藤 忍、山田明美)
三重県の山	3名(栗木洋明、石井 仁、山田明美)
静岡県の山	1名(栗木洋明)
チャレンジ	25名(栗木洋明、山田明美、石井 仁、遠藤 忍、前田隆久、鈴木 浩、熊谷美喜子、酒井大輔、榊 将美、前田芳子、堀端静夫、水野猛志、磯部 隆、光崎 晋、伊与田玲子、石田 誠、近藤政仁、天野叔明、井上寛之、横地達夫、福井雅子、木村孝保、伊藤 稔、大島 巖、中島美枝)

2. コース別登頂数ベスト5

100 高山	鈴木愛子(47)	山田明美(30)	栗木洋明(27)	大島 巖(14)	岡本英俊(12)
一等三角点	栗木洋明(64)	山田明美(58)	石井 仁(36)	鈴木 浩(31)	堀端静夫(21)
愛知県の山	栗木洋明(120)	前田隆久(91)	天野叔明(70)	熊谷美喜子(70)	前田芳子(70)
岐阜県の山	栗木洋明(71)	遠藤 忍(61)	山田明美(60)	木村孝保(59)	酒井大輔(46)
三重県の山	栗木洋明(69)	石井 仁(61)	山田明美(60)	石田 誠(21)	堀端静夫(15)
静岡県の山	栗木洋明(63)	石井 仁(51)	近藤政仁(12)	鬼頭則俊(8)	堀端静夫(5)
チャレンジ	栗木洋明(361)	山田明美(235)	石井 仁(193)	遠藤 忍(128)	前田隆久(123)

60山ラリー登山記

亀の会 佐原光子

登山定年延長

「鍋山? 80m・・・駅から近い、イイジャン!
ナヌ? 一等三角点!?!」

かくて、7月16日友人と3人で知多半島の鍋山を目指した。名鉄線河和口駅下車。

梅雨時ではあったが蒸し暑さはさほどではない。オレンジロードと名のついた樹林帯の遊歩道。そこから垣間見る青空の清々しさ。三河湾からの風と樹木の冷気が醸し出す気持ち良さ。そこかしこに道標があり迷うことがない。お喋りしながら一時間足らずで一等三角点の地を踏んだ。「身の丈に合った」(自分で言う分には心地よい言葉)山の楽しさを存分に味わった。正に「60山ラリー」がなければ、出会えなかった山だった。

愛知県全図を購入してきた。60山ラリー目次録とホームページの地図情報を参考に、愛知125山の位置を数日かけて書き入れた。一山一山記入していくうちに、山への愛おしさとその山を戴く土地への憧れがふつつつと湧いてきた。初めて聞く名の山、公共交通機関を使用す

ると到着迄に一日がかりの山、そして高度が手ごろで地域に密着しているような山。コロナ禍での幽閉生活ではあっても、実に楽しい時間であった。そして、細々とやっていた私の山人生をあと3年と踏んでいたが、もう少しやってみようかと考え始めた。5年後の姿が目に見えぬ。豊根村に1~2週間滞在し、県境の袖山岳・八嶽山・猿ヶ鼻を見上げてはウロチョロ、ウロチョロ・・・。名古屋に居付いて50余年。突如、郷土愛に目覚めた。きっかけは何といっても「60山ラリー」である。以前は「愛知の山?」の感覚であった。

「60山ラリー」実行委員会の山田委員長をはじめ委員の皆様は多種多様の山の楽しみ方を示して下さいました。山歩きが困難になった者にも背中を押して下さいました。その準備では緻密な計画と気の遠くなるような忍耐の作業でありましたでしょう。その無償な愛ともいうべき取り組みに、心からの敬意と感謝を申し上げます。併せて、これからもよろしく申し上げます。

東海岳人列伝(16)

愛知岳連生みの親～熊沢友三郎

編集委員会 西山秀夫

熊沢友三郎と上田竹三はともに中京山岳会の創立会員だった。名古屋山岳会の会長が創立者の跡部昌三氏の終身会長であるのに対し、中京山岳会は交代制である。そこに三菱重工の社員で構成されるゆえの近代性を見る。

中部日本新聞社が伊藤洋平創刊の「岳人」の出版を引き継いだ。しばらくは伊藤洋平が編集人を務めるが、後に中部地区の取材編集は名古屋市の跡部氏が担当するようになる。名古屋山岳会の会員でも加藤どんちゃん、高田光政氏らが出版しているがすべて個人的な内容であり、会員がまた会を挙げて出版した本は見たことがない。対して熊沢氏が率いた中京山岳会は数々のガイドブックの出版で存在感を示した。個人では沖充人氏ただ一人しか知らない。多くの人にもまれる組織人でなければ実現しなかったガイドブックの出版に



熊沢氏の人徳と統率力を備えた人間性を見る。

上田竹三に見るプロの写真家が居たことと、熊沢氏も「岳人」に寄稿し書ける会員が多数居た。

昭和23年の『鈴鹿の山』（中部日本新聞社）に始まり、昭和40年代に山と溪谷社版『鈴鹿の山』が出版される。続いて『中央アルプス』が刊行された。今ではバリエーションの領域まで一般登山者向けのガイドブックに掲載された。これは愛知県図書館で閲覧出来よう。

しかし、これを機に山岳会の編集から個人の熊沢氏に移管された。ガイドブックの宿命であるアップツーデートに維持することは、常に新味を求める登山者の組織では困難なのである。モータリゼーションの到来はずっと先なので会員は暇を工面して仕事が終わると中央線の夜行列車に飛び乗り木曾の登山口へと急いだであろう。これでは長くは続かず熊沢氏個人がメンテナンスを引き受けた後、地元の飯田市の山岳会へと引き継がれた。

熊沢氏の死去から12年後に山と溪谷社の『岩と雪』が廃刊した事実は逆に言えば熊沢氏は一代でアルピニズムを追及できる時代に生きたのである。そしてバラバラな個人の時代になった。労山のふはく山の会が1000人、名古屋歩く会は女性ばかり300人もの会員を集める時代になった。百名山は何度もブームを迎えた。中京山岳会のような本格派の老舗は会員を減らすばかりになった。

中京山岳会のあゆみから（HPから抜粋）

・芽生え・昭和6年(1931)～14年 ベルグロイテ時代へ。登山は、贅沢な一部の有産階級の遊びとみなされ、勤労者には高嶺の花の様な時代。

・昭和8年、三菱名古屋航空機製作所に入社した縫製技術(テント、ルックザック等)を体得する熊沢友三郎氏のもとに三菱スキークラブの山好きな現場青年達が集まる。さらに同社の陸軍機工場の愛好者達が合流し組織的な登山が始まる。

・その後(昭和13年)平岩次郎、仁和武、佐伯脩氏等の山岳人の文化的クラブ「名古屋ベルグロイテ」と合流し、昭和14年10月中京山岳会として発足。

初代会長に赤羽良一氏（弁護士・欧州アル

プス・ユングフローへの登山経験者）

・戦前・第1期黄金時代(昭和15年)から戦時中の中京山岳会(昭和20年)

事務所を熊沢友三郎氏方に、木曾駒の集中登山や分散下降を行うなど会員の登山活動に活気がみなぎる。以後登山記録の重要性強く意識し、後世に会の足跡を残すことに努力。

昭和21年になると愛知県でも登山活動が再開。7登山団体で岳連復帰への気運が高まる。伊藤秀五郎を会長に熊沢友三郎、跡部昌三氏らの名古屋山岳連盟が活動を再開。その後、中部山岳連盟と改称したが昭和23年に愛知県山岳連盟に再度改称された。因みに伊藤秀五郎は『北の山』で知られるその人であるが、一時的に名古屋にも縁があった。「1944(昭和19)年、突然北大を辞し、名古屋の軍需工場へ赴く。戦後は、中日新聞論説委員、三重県人事委員を歴任。1948(昭和23)年より北海道学芸大学教授兼厚生指導部長、北海道教育長、北海道教育研究所長と戦後混乱期の北海道の教育事業に奉仕した。」というから少しの間、名古屋にも縁があった。

発足した昭和23年当時熊沢氏は理事である。昭和31年になると、荒川ノーシンの荒川勘五郎氏を向かえた。副会長には跡部昌三氏と熊沢友三郎氏が就任し、戦後の東海地方の山岳界を担う。

昭和48(1973)年 愛知岳連会長に熊沢友三郎氏が副会長から昇格(就任)

昭和58(1983)年5月 勲五等旭日章を受章
4月29日岳連会長熊沢友三郎氏が、50有余年にわたる登山活動を通じ登山の指導者および組織の責任者として、長年にわたっての功績が認められ、勲五等旭日章の榮譽を受けられた。

<プロフィール>

昭和14年 中京山岳会発足、会長に就任
昭和23年 全日本山岳連盟理事に就任
昭和23年 愛知県山岳連盟常任理事に就任
昭和34年 愛知県山岳連盟副会長に就任
昭和48年 愛知県山岳連盟会長に就任

<記録>

昭和10年1月 冬期乗鞍岳 飛騨越えに成功
昭和11年1月 冬期富士山登頂
昭和12年1月 槍ヶ岳・中央アルプス登山

昭和25年1月 白馬岳主稜初登攀
 昭和26年1月 白馬鍵ヶ岳南稜初登攀
 この他多くの山行を実践、その回数は数百回に及ぶ。
 昭和58年

6月5日 熊沢会長 受章記念祝賀会を開催、
 覚王山東山会館に160名の人が集まり、盛大な祝賀会が催された。

10月 享年74歳で逝去

愛知県山岳連盟生みの親

「熊さん」こと熊沢友三郎氏逝く

「熊沢さんを偲んで」

副会長 鈴木時夫

熊沢会長には2年間の闘病生活において、体力が極度に衰弱し、去る10月10日午後8時、心不全のため逝去されました。明治42年3月25日生まれの享年74才。

熊沢さんは昭和の初期から山一筋に50余年にわたる登山活動を通じ、登山の指導者として、又組織の責任者として健全な登山者を育成し、実践、研究、そして遭難救助を一貫して岳界の発展に努力してこられました。

主な登山活動として、昭和10年1月の飛騨からの乗鞍岳越え。16年1月の木曾御岳・地獄谷において氷壁における遭難救助訓練。25年、26年1月の白馬岳周辺の冬期登攀。35年4月には岳連で最初のヒマラヤ遠征登山を遂行。50年代に入ってヨーロッパアルプス、ネパールヒマラヤのトレッキング等々、山行回数は実に千百回にも及び、「未知へのあこがれ。頂上をきわめる。自然の中に入り込む」とにかく理屈抜きで山の魅力に取り付かれ、反面、私達に対しては「山は逃げていかない。天気が悪ければ、この次ぎ登れ。」或いは「チャンスは絶対逃がすな。」と教えてこられた。

愛知岳連にとっては生みの親であり、育ての親でもあります。昭和14年、中京山岳会を設立し、愛知岳連の前身である名古屋山岳連盟、中部山岳連盟。そして昭和23年全日本山岳連盟の結成に伴い、愛知県山岳連盟と改名し、現在に至るまで、一貫して岳連業務にたずさわってこられました。

一方、朝明溪谷に山小屋及びキャンプ場も開設し、広く一般登山者にも、登山知識・マナー等の指導に当たられ、又、職業の縫製業



を利用し、たえず新しい登山用品の開発にも力を入られた。

特に昨年、中京山岳会50年史『山と谷へ』を発刊。

これには実に熊沢さんの50年間の山でのあゆみが克明に記録されております。

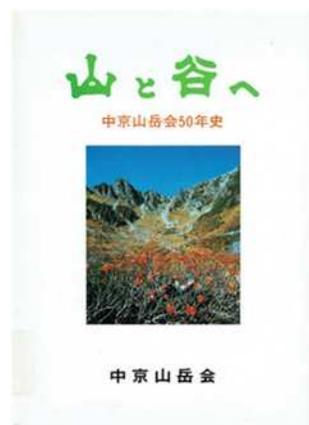
そして、本年4月、以上のような岳界の発展に寄与した功績が認められ、勲五等旭日章を受章されました。

岳連にとって本当にかげがえのない人を無くしました。又、私にとっても40年間身を以って教えて頂いた熊沢さん・・・・・・。どうかやすらかに眠りください。

以上は

愛知県山岳連盟編纂 愛知県山岳連盟60年史『あゆみ60年』平成12年4月16日

会長：湯浅道男 編集委員代表：磯村義宣
 を参考にした。



美しい大和言葉

登山学校運営委員長 榎 将美

■元号「令和」が万葉集からの出典だと知って改めて万葉集のダイジェスト本を斜め読みし始めて既に1年が経ってしまいました。恥ずかしながらいまだ読了できていません。

そのような中で柿本人麻呂のこんな歌に気がいきました。

『しきしまの大和の国は 言霊(ことだま)の幸(さき)わう国ぞ ま幸(さき)くありこそ』

現代文にするなら『この日本の国は、言霊、すなわち言葉が持つ霊的な力によって幸せになっている国です。これからも平安でありますように』とでも言えましょか。

我国が言葉によって幸福を得ているというのです。古代の人々は霊力が宿るとした【言霊信仰】を持っていたようです。

■翻って現代の日本はどうでしょうか。文法の乱れや言葉を省略した若者言葉の氾濫が気になります。例えば、「チョー!○○」といった短い接頭語ですべてが超えている表現になるのですから、とても便利な言い方ではありますが違和感を覚えます。これは本来「このうえなく」とか「いたく」もしくは「こよなく」が奥ゆかしい言葉でしょう。日常的には「とても!」「非常に!」でしょうか。

■先日、美しい日本の景観百選にも選ばれたある里山に山行しました。案内看板に「山間部の美しい集落です。まるで日本昔話の世界です」と案内されていました。確かに日本の古里を感じさせるのどかな雰囲気でした。ならば山間部ではなく『山あいの里』『山さと』の方が合う



様に感じました。そこで山にまつわる大和言葉を少し調べてみました。

山脈は「山並み」でしょうか。山の稜線は「山の端」です。似たような言葉に山と接している空を表す「山ぎわ」があります。

枕草子の冒頭文『春はあけぼの やうやう白くなりゆく山ぎは・・・』を思い出します。空が白々と明けていく様が目に浮かびます。

「峰々」は、山がいくつも連なって見えることで、眺めている景色の雄大さが窺えます。

ある時、山の先輩に杉、檜など材木にするための木を植えた山を「杣山(そまやま)」と呼ぶことを教えていただきました。「杣」だけでも同じ意味だそうです。加えて杣道(そまみち)は杣人(そまびと)しか通らないような、細くてけわしい山道です。

ほかにも、山麓を意味する「山すそ」林道を意味する「山路」も美しい言葉だと思います。

■美しい景色に出会った時、親しい人に感動を伝えたくくなります。木々がざわめき、鳥がさえずり、花々に癒され、青く重なる峰々の先にまだ見ぬ景色を想像する。これらを「生きているもの同士の対面」だとしてとらえると、山の発するすべてを私たちが全身で受けとめているからこそその感動だと思います。

これからは意識して大和言葉を使ってみたいと思います。大和言葉に思いをはせながら山行できる余裕を持ちたいものです。

皆さんからいろいろと美しい大和言葉をご教授頂ければ幸いです。

カット 安藤忠夫



委員会報告

【猿投の森づくりの会】

第110回やまじの森自然観察会

日時：令和2年7月18日(土)

天気：雨

テーマ：夏の野草

参加者：7名

コース：ヤマモモ広場→林道→大曲→水場→
トイレ→三叉広場→杉の谷コース堰堤手前
→北歩道出会い→三叉広場(昼食)→ヤマモ
モ広場

第2波の新型コロナウイルス、梅雨後半の大
雨が続く中、7名の参加者とスタッフ3名、合
わせて10名で観察会を実施した。雨は早々に
上がるものと天気図を確認してきたが、結局昼
食の時間まで青空は望めなかった。

毎年コクランが観察できる場所は、葉っぱだ
けの状態であり、猿投山登山口手前でサルナシ
の実の落下したものを確認した。そこではジャ
ケツイバラ幼木のツルが新緑にひかり輝いて
いた。林道脇にはハエドクソウの小さい花が咲
き、大曲りでは傘をさしてのジャコウアゲハの
幼虫観察となった。

途中、バイカツツジは雨に打たれて花もしお
れていた。また、カラスザンショウやイヌザン
ショウの匂いの違いを確かめた。

トイレ脇ではツクバネの写真、杉の小枝に着
生したカヤランに目をこらして確認した。三叉
では、毎年、初夏を感じさせてくれるチダケサ
シとミカワショウマの白い花がいっぱい咲い
ていた。

一方で、頭上の林の中、右からソウシチョウ、
左からクロツグミの鳴き声が聞こえ、姿は見え
なかったが感動の一瞬であった。

堰堤下の川の中、および杉木立脇にはミカワ
ショウマが凜として花開いていた。堰堤下でミ
カワショウマを見た後は、ナツフジ、アキノタ
ムラソウが写真対象となっていた。三叉広場には
ムラサキニガナが咲き誇り風に揺れて写真
撮影の難しさを感じた。

三叉での昼食後は、地面と同色のタゴガエル、
そのジャンプ力に驚き、帰りはクジャクゴケに
目を奪われ、それぞれが楽しい観察会となった。

■観察できたもの

◇花 ハエドクソウ、ダイコンソウ、オオバノ

トンボソウ、キンミズヒキ、ノギラン、ナツフ
ジ、アキノタムラソウ、ヒヨドリバナ、ムラサ
キニガナ、チダケサシ、オカトラノオ、ミカワ
ショウマ、ヘクソカズラ等

◇鳥 メジロ、ハシブトガラス、ホトトギス、
ウグイス、ソウシチョウ、アオゲラ、コゲラ、
ヤマガラ、オオルリ、ヒヨドリ、キビタキ、ク
ロツグミ、ヤブサメ、カケス

◇昆虫、他 カタツムリ、シマヘビ、タゴガエル
、コクワガタ(雌)、ヒメコガネ、フタスジハ
ナカミキリ、イオウイロハシリグモ

◇木 ヤマアジサイ、ヒメコウゾ(実)



↑チダケサシ



←ミカワショウマ



タゴガエル

猿投の森づくりの会代表 和田豊司

支部友コーナー

◆支部友委員会山行計画(令和3年1月~3月分)

*募集開始は3か月前からです。

- 1月9日(土)☆☆ 募集開始10月9日
山域:鈴鹿 山名:鎌尾根~鎌ヶ岳
リーダー:山田明美
- 1月11日(月)☆ 募集開始10月11日
山域:静岡焼津 山名:満観峰
リーダー:今津英一朗
- 1月23日(土)☆☆ 募集開始10月23日
山域:鈴鹿 山名:御在所岳
リーダー:高松信治
- 1月30日(土)☆ 募集開始10月30日
山域:浜名湖西 山名:神石山・座談山縦走
リーダー:近藤政仁

- 2月7日(日)☆ 募集開始11月27日
山域:豊橋 山名:石巻山
リーダー:磯部 隆
- 2月13~14日(土、日)☆☆
募集開始11月13日

山域:北アルプス
山名:厳冬の乗鞍・上高地
リーダー:金谷正起

- 2月13日(土)☆ 募集開始11月13日
山域:台高山脈 山名:高見山
リーダー:水野猛志
- 2月27日(土)☆ 募集開始11月27日
山域:愛知 山名:春日井三山縦走
リーダー:近藤政仁

- 3月7日(日)☆☆ 募集開始12月7日
山域:三河高原 山名:猿投山
リーダー:山田明美

- 3月14日(日)☆ 募集開始12月14日
山域:鈴鹿 山名:霊仙山
リーダー:今津英一朗

- 3月20日(土)☆ 募集開始12月20日
山域:両白山地 山名:大日ヶ岳
リーダー:榊 将美

- 3月27日(土)☆ 募集開始12月27日
山域:御油 山名:宮地山・五井山
リーダー:磯部 隆

支部友会員数(令和2年8月末現在) / 71名

山行対象者 支部友会員及び支部会員

申込み方法 ・支部友会員は申込締切日までに、

各山行リーダーが示す方法で申し込む。

- ・締切日 原則山行日 20 日前まで。(締切日を過ぎての参加空き情報はリーダーに直接問い合わせ下さい)
- ・支部会員は申し込み締切日の翌日以降に、各山行のリーダーへ問い合わせる。
- ・山行の募集人員を超えない範囲で、支部会員の参加申し込みを受け付ける。

次回支部友ミーティング 開催内容のお知らせ

「予定」第42回「忘年会・新入会員歓迎会」
一年間を振り返り、山の思い出を語り親睦を深め合います。

*コロナ感染症の状況により中止も有ります。
後日メールにてお知らせします。

日時: 12月8日(火) 19:00~21:00

会場: レストラン リビエール

(セントヒサヤビル10F)名古屋テレビ塔前

会費: 3500円

リーダー連絡先

尾上 昇 FAX: 052-832-3878

メール: onoe@onoe.co.jp

金谷正起 携帯: 090-9931-3600

メール: kanaya.masaki@rouge.plala.or.jp

榊 将美 携帯: 090-7237-4410

メール: m.sakaki@minds-consulting.jp

村瀬恭平 携帯: 090-4186-9876

メール: hoshizakari@docomo.ne.jp

田中 進 携帯: 090-9191-8666

メール: t-susumu@peace.ocn.ne.jp

今津英一朗 携帯 090-2616-7549

メール: imazu.eitirou@maroon.plala.or.jp

磯部 隆 携帯: 090-9180-7245

メール: takass@yk.commufa.jp

高松信治 携帯: 090-3156-5268

メール: takama2nobu3@yk.commufa.jp

松本陽子 携帯: 090-7859-4031

メール: yo-kom@nifty.com

水野猛志 携帯: 090-5866-3781

メール: r34668@bma.biglobe.ne.jp

近藤政仁 携帯: 090-2183-8125

メール: vft55ud55@gmail.com

山田明美 携帯: 090-4083-7413

メール: yfd32147@nifty.com

同好会紹介コーナー

スケッチクラブ

村中征也

〈活動〉

4月からのスケッチや集まりは、2月から広がったウィルス禍covid-19のために、全て休止に追い込まれました。残念ですが、身を守ると共に社会人としての責務でもあります。

各自在宅での作画が主となりますが、なかなか絵筆が進まないのが現状ではないでしょうか。

〈スケッチ旅行〉

乗鞍高原へ 10月30日～31日

ウィルス禍の縮小を願い、一部のメンバーで計画しております。

休暇村をベースに、一の瀬園地・まいめの池・牛留池・番所大滝・善五郎の滝などの晩秋の高原を楽しみ、画用紙に収めて来ます。

〈第7回作品展〉

早いもので7回目を迎えます。来年2月10日(水)～14日(日)の5日間、名古屋市の市政資料館・第5展示室(昨年と同じ)で、山の絵の他、会員が描き溜めた多彩な作品を展示します。

東海支部の皆さんには、毎回大勢訪れて頂きますので、どうか知人の方々をお誘いの上是非ご覧頂きたく、ご案内させていただきます。

代 表…石田好子

事務局…村中征也・武内喜代子



会場の市政資料館

会 務 報 告

【2020年6月常務委員会】

日時：6月24日(水)19時00分～

開催場所：東海支部ルーム(コロナウィルス感染症感染防止のため、大・小ルーム利用により3密を防いでの開催とした)。

1. 副支部長挨拶(山田)：新旧役員交代の報告・紹介と挨拶【(技術向上委員長)片岡→清水、(総務委員長、副支部長兼任)毛利→今津、(写真展委員長)山内→坂本、(青年部)鎌倉→荒木、(岳連)鎌倉→鈴木】

2. 委員会報告

①遭難対策委員会(山田)：6月2日岐阜県揖斐川町のタンポ(1065m)西谷山(949m)に入山した支部員が道迷いによる遭難する事故が発生した旨報告。3日に留守宅から支部に相談があるも登山届が未届けであったこと、家族にも行き先を告げずに出かけたため、事故発生山の特定に難渋した。幸い娘さんによるPCの履歴検索の結果、行き先は能郷白山ないしはタンポとの推測がなされ、4日早朝より捜査活動開始され、タンポ登山口の峠にて本人の車を発見、タンポでの遭難と特定された。

捜索活動には山田副支部長による出動要請に基づき東海支部から22名が参加した。4日の捜索では発見できなかったが、幸い翌5日14時に発見・救出された。発見されたときは重篤

の状態であり間一髪で助かったとのこと。

本人の体調回復が遅れているため、事故に関する本人の聞き取り調査は29日まで待つこととなっている旨報告あり。

②総務委員会(今津)：高橋支部長からの「支部活動の緩和」に関する指針①三密の回避をした入山計画②山小屋・交通機関の営業状況の確認を行い登山計画書提出の徹底をするなどの紹介と支部ルームでの会議は三密を避けると同時に、今後はWeb委員会等の実施も試す旨の伝言あり。

正副支部長担当の委員会の変更につき報告1、森の音楽祭と亀の会は山田→今津、2、岳連担当は片岡→山田に変更となったと報告。また支部のパソコンをNoteパソコンに代えることになった旨報告。

③会計(市川)：R2年度委員会費用は、来月の常務委員会時に渡す旨報告。

④県岳連(鈴木愛)：4月・5月の理事会は書類審議となった旨の報告あり。

⑤山行委員会(鈴木)：コロナ感染症のため、6月までは全ての山行中止。支部活動規制緩和を受け、7月から山行開始の予定。但し各山域からの要請事項、山小屋の営業状態などを見極めながら計画立案をしていきたい旨報告。東海支部からのコロナ対策の指針をもっと早く示し

てほしかったとの要望あり。

次回山行委員会にはPCを持ち込み、リモート会議の実施に備えたい。

⑥猿投の森づくり委員会(和田):①県有林事務所が第2管理道の崩壊斜面を盛り土し車が通れるようになった。当管理道を、今後開催予定の音楽祭をはじめとしたイベントに参加する人たちのための駐車場として活用の予定。②管理道の修復作業の中で、猿投の山から百年程前に設置された植樹記念碑が見つかった旨報告あり。

⑦東海ユース(服田):会員動向は7/1現在16名で男性2名、女性14名。活動は9月まで中止。次回定例山行9/27、運営委員会は9/6に行う。

⑧60周年記念事業(山田):60山ラリーの参加申し込みは現在103名。コロナ感染症による登山自粛の状況を鑑み、登山実績の締め切りを2021/3月から6か月延長し2021/9月末までとすることとした旨報告。今月のメルマガ並びに支部報にて告知の予定。

⑨青年部(荒木):議事録に沿って報告。山行報告はなし。青年部30名の内、現在の活動人員は10名である旨報告あり。

⑩登山学校委員会(榊):東海支部活動指針に基づいて6月の山行は愛知県内の山とし、現地集合・解散で行った。宿泊計画、越県する計画は延期にした。登山学校の修了式と入校式は7/18(土)に実施する。その後第1回目の机上講習の「夏山気象講習」も実施する事とした。また登山学校では同窓会を発足する為のミーティングを開催する。第3期登山学校終了者は、初級21名(修了証書授与率91%)・中級28名(同87%)・上級8名(同100%)、合計57名(同90%)だった。その内登山学校3年満期の終了者は37名、その中で17名は支部に入会。第4期の入校式は前年と同様の形態とし初級教室は15名・中級教室は14名・上級教室は4名となった。その他同窓会生による研究生制度を設け1年間上級教室の受講を可能とした。

⑪自然保護委員会(井藤):3・4・5・6月と委員会は中止。6/22(月)に猿投の山にカメラを設置した。現地では熊の糞も見つかり熊の生息が確認された旨報告があった。

⑫ボランティア委員会(前田):秋からの行事については確定ではないが、報告書の通り進めていく。リモート委員会の活用については高齢者

が多いこともあり全員参加は難しいが出来る人だけでも進める方針。7月にボランティア委員会の指針を作成する事とした。

⑬遭難対策委員会(山田):遭難対策委員会は2月から中止している。6月29日に委員会を予定している。個人活動として猿投山で読書の研修会を現地集合・解散で開いた。7/18に夏山気象講習会を70名限定で開催する。

⑭写真展実行委員会(坂本):委員会は現在16名(女性9名・男性7名)で構成。1、延期になっていた「第17回東海岳人写真展」は2021/2月2日～7日に名古屋市民ギャラリー栄ギャラリー8Fにて実施予定。2、会計を2名とし収支報告書を作成管理する事にした。3、中断していた写真山行も7月から再開の予定。東海支部のメールサービスで予定を配信する予定。

⑮技術向上委員会(清水):1月25日のテーピング講習会以来、委員会開催が中止になっている。6/25に今年度の計画を検討する旨の報告。出席:山田、今津、榊、市川、坂本、佐野、前田、鈴木(愛)、井藤、清水、服田、鈴木、井上、毛利、荒木、和田

【2020年7月常務委員会】

日時:7月22日(水)19時00分～

1. 支部長挨拶(高橋):今後の会議の有り方については、コロナ対策として試験的にリモート会議を取り入れていく。また、先月遭難事故が発生しているが、基本的なミスから起きているもので、登山届の提出など基本を守って行いたい。更に今年はコロナの影響があり中部山岳のエリアも宿泊・テントの設営等規制をしているので確認後に登山をしてほしい。

2. 委員会報告

①総務委員会(今津):柴田元副支部長が逝去された。故人の遺言としては寄付の申し出があった旨報告がされた。

②会計(市川):欠席。今年度予算の支払いと昨年の残金返却について総務委員長より報告。

③愛知県岳連(鈴木愛):資料配布で安全登山指導者研修会の案内。9月19日～21日に、福井県奥越高原青少年公園にて開催。

④亀の会(天野):タンボの道迷いから学ぶ教訓と、亀の会としての今後の活動について話し合った。登山届の提出、山岳保険のチェックの見直しをするよう求めた。当面の山行の考え方は歩行時間の短い山とし、現地集合現地解散で、公共交通機関を使うときは空いている時間帯

- 12(金) 全国支部懇談会
- 15(月) 図書委員会・読図会
- 16(火) ボランティア委員会
- 17(水) 山行委員会/総務委員会・正副支部長会議
- 18(木) 東学連
- 22(月) 支部友読図会
- 24(水) 常務委員会
- 25(木) 技術向上委員会
- 29(月) 遭難対策委員会

――・―― 7月 ―――・――

- 1(水) 青年部
- 2(木) 写真展実行委員会
- 3(金) 古道塩の道
- 5(日) 学校指導員研修会
- 6(月) 支部友委員会
- 7(火) 県岳連/TNCC
- 8(水) 60山ラリー委員会
- 9(木) 自然保護委員会 →中止
- 10(金) 全国支部懇談会
- 13(月) 登山学校運営委員会
- 15(水) 山行委員会/総務委員会・正副支部長会議
- 16(木) 東学連、山行打ち合わせ(横尾本谷・山田副支部長)
- 17(金) 亀の会
- 20(月) 図書委員会・読図会
- 21(火) ボランティア委員会
- 22(水) 常務委員会
- 27(月) 遭難対策委員会 →中止
支部友読図会

――・―― 8月 ―――・――

- 3(月) 支部友委員会
- 4(火) 県岳連/TNCC
- 5(水) 青年部
- 6(木) 写真展実行委員会 →中止
- 7(金) 古道塩の道
- 10(月) 登山学校運営委員会 →中止
- 11(火) 支部友ミーティング →中止
- 13(木) 自然保護委員会 →中止
- 14(金) 全国支部懇談会
- 17(月) 図書委員会・読図会
- 18(火) ボランティア委員会 →中止
研修山行打ち合わせ(山田副支部長)
- 19(水) 山行委員会 →中止
総務委員会・正副支部長会議
- 20(木) 東学連
- 24(月) 支部友読図会
- 26(水) 常務委員会
- 27(木) 技術向上委員会

会員異動

- 入会:** 天澤順一(16656) 木村 篤(16657)
 竹内 将(16658) 米津妙子(16659)
 小川典彦(16660) 山口和浩(16661)
 豊田由香(16662) 太田重成(16663)
 吉田 清(16664) 大橋博子(16665)
 竹内章夫(16668) 倉橋智司(16669)
 東村緑子(16670)
- 退会:** 小口弘美(15745) 原 奈緒(15904)
 林 久美子(16098) 佐藤愛子(15842)
- 物故:** 柴田清康(12746)

I N F O R M A T I O N

【総務委員会からのお知らせ】

△ 東海支部新年会のお知らせ△
 本年度支部新年会は、コロナの収束が望めない状況であり中止とします。
 日本山岳会年次晩餐会も同じく中止となりました。詳細は会報、Web等をご覧ください。
総務委員会 今津英一郎

【写真展実行委員会からのお知らせ】

延期となっております第17回東海岳人写真展は来年(令和3年)2月2日(火)～7日(日)名古屋市民ギャラリー栄8階、第9・10展示室で
 30(木) 技術向上委員会

開催予定ですが、コロナの影響等を見極めてからお知らせいたします。会員の皆様方は今しばらくお待ちください。

写真展実行委員長 坂本 孝

「山に登る」ということが非日常の事となって、半年過ぎた。特に海外の山には何時になったら渡航が出来るか、見通しが利かない。

Web上の登山も良いが、毎年訪れる花の山もご無沙汰してしまった。錦秋の秋には、三密を避けていつもの山歩きを楽しみたい。

星 一男

SINCE 1975

mont-bell

ウェア・ギアに
遊び心もそろえて
お待ちしております

アウトドア用品は、
機能的なアイテムが豊富に
そろそろモンベルストアへ。



- 岐阜店** 岐阜県岐阜市柳津町丸野3-3-3 カラフルタウン エミノワ内
- 各務原店** 岐阜県各務原市加賀場町3-8 イオンモール各務原 2階
- 豊橋店** 愛知県豊橋市飯村町西山7-645
- 長久手店** 愛知県長久手市片平1丁目901
- 名古屋店** 愛知県名古屋市中区栄3-18-1 ナディアパークロフト 6階
- ららぽーと名古屋みなとアクルス店** 愛知県名古屋港区港明2-3-2
ららぽーと名古屋みなとアクルス 1階
- 新静岡店** 静岡県静岡市葵区豊田1丁目1-1 新静岡セノバ 4階
- ららぽーと豊田店** 静岡県豊田市高見丘1200 ららぽーと豊田 1階
- 浜松店** 静岡県浜松市東区上西町985-1 浜松プラザウエスト内
- 長島店** 三重県桑名市長島町浦安368
三井アウトレットパークジャズドリーム長島 2階
- 鈴鹿店** 三重県鈴鹿市庄野羽山4-1-2 イオンモール鈴鹿 1階
- モンベルルーム豊田店** 三重県三重郡菟野町大字菟野8625
(豊田所口アウエイ前)

豊橋店・名古屋店・長久手店・長島店では、アウトレット商品も取り扱っています。

【お問い合わせ】 0088-22-0031 / TEL.06-6536-5740
モンベル・カスタマー・サービス

法務相談は行政書士にお任せください!

相続 会計 許認可

1時間無料相談

あなたの不安を解決に導きます

遺言書、遺産分割協議書、
法定相続情報一覧図作成、任意成年後見の相談など



西山行政書士事務所 ☎052-961-6506

名古屋市中区丸の内3-21-21丸の内東桜ビル1004 久屋大通駅 徒歩1分
www.nygs-office.com

『東海支部報』では、
広告を募集しております

表4(裏表紙)掲載

※掲載のご希望・お問合せは

room01@muse.ocn.ne.jp まで

***** OMC *****

住いのコンサルタント

(有) 富士見企画

〒460-0014
名古屋市中区富士見町8番8号

オフィスに関する悩み事、丸天産業が全て解決します。

ファシリティマネジメントによるオフィス構築や
デザイン、インテリアやセキュリティなど
オフィスのすべてが揃っています。

オフィスのお困りごとを丸がかえでお応えいたします。



MARUTEN

郵送無料 Honesty

コンサルティング事例集

オフィスに関するお悩み事の解決事例が載っています。
お申込みは下記までお電話ください。

株式会社 丸天産業

本社 〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄5丁目10-34
TEL: 052-241-3686 FAX: 052-241-0457

企画・デザイン・印刷



株式会社 浅井隆文社

〒461-0044 名古屋市中区東区矢田東1番22号
TEL (052) 719-0677 FAX (052) 719-0678
E-mail: info@asai-rbs.co.jp